

令和3年8月24日
都市局 都市政策課
都市計画課



Project PLATEAU

スマートシティの社会実装に向け、
新たなユースケース開発の実証実験を開始

Project PLATEAU（プラトー）では、スマートシティをはじめとするまちづくりのデジタルトランスフォーメーションを進めるため、現実の都市をサイバー空間に再現する3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を進めてまいりました。

令和3年度は社会的要請の高いテーマや先進技術を取り込んだユースケースの開発に取り組みます。今回は、現在取組中の**カーボンニュートラル、自動運転等をテーマとした実証実験**をご紹介します。



Carbon neutral

太陽光発電ポテンシャル推計
反射光公害シミュレーション
都市スケールの太陽光発電ポテンシャル推計等に3D都市モデルを活用



Mobility

自動運転車両の自己位置推定におけるVPS活用
自動運転車両の自己位置を推定するVPSに3D都市モデルを活用



Transportation

工事車両の交通シミュレーションVer2
都市部における工事車両のオペレーションに3D都市モデルを活用



Area management

大丸有 Area Management City Index (AMCI)
大丸有エリアにおいて、エリアマネジメント活動のプラットフォームを開発

ウェブサイト PLATEAU では、取組の実証実験の進捗について随時レポートしていきます。

<https://www.mlit.go.jp/plateau/>

※イメージは開発中のものであり、今後変更の可能性があります。

<問い合わせ先> 都市局都市政策課 内山、中島、菊地
電話 03-5253-8111 (内線 32235) 03-5253-8397 (直通)
FAX 03-5253-1586



<Project "PLATEAU">
ウェブサイト：www.mlit.go.jp/plateau/
Twitter：@ProjectPlateau

〔各ユースケース開発の概要〕

太陽光発電ポテンシャル推計・反射光公害シミュレーション

石川県加賀市において、加賀市と連携し、建物の屋根面積、傾き、隣接建物による日陰発生など、3D 都市モデルのデータを活かした都市スケールの太陽光発電ポテンシャル推計等のシミュレータを開発。

都市内における太陽光発電普及に向けた施策検討への有用性を検証します。

☞詳細：<https://www.mlit.go.jp/plateau/use-case/smart-planning/3-006/>

自動運転車両の自己位置推定における VPS (Visual Positioning System) 活用

静岡県沼津市において、静岡県と連携し、カメラ画像から取得した情報と、3D 都市モデルの特徴点とを照らし合わせることにより、車両の自己位置を推定する VPS (Visual Positioning System) を開発。

安価・効率的な自動運転システムへの活用可能性を検証します。

☞詳細：<https://www.mlit.go.jp/plateau/use-case/smart-planning/3-007/>

工事車両の交通シミュレーション Ver2

大阪府大阪市において、3D 都市モデルを用いた工事車両の搬入経路シミュレータを開発。

地域住民の安全・安心や施工業者の円滑な資材搬入を実現する建設物流プラットフォームの構築を検証します。

☞詳細：<https://www.mlit.go.jp/plateau/new-service/4-008/>

大丸有 Area Management City Index (AMCI)

大丸有 (大手町・丸の内・有楽町) エリアにおいて、大丸有まちづくり協議会と連携し、エリアマネジメント活動のプラットフォーム“Area Management City Index (AMCI)”を開発。

まちづくり活動のビジュアライゼーションによる企業や個人の参加促進を検証します。

☞詳細：<https://www.mlit.go.jp/plateau/new-service/4-009/>